

# KAMIRAKUGO

TAKE FREE

KAMI RAKUGO BIMONTHLY MAGAZINE 2-3 NO.80 February&March

かみ落語  
大正文庫

池田・落語みゆーじあむ  
池田中立法落語資料展示館

高座の向こう側にある、  
絶景。



第十七回

## 社会人落語日本一決定戦

【TOPICS】桂文枝 大会総括 / 第17回ファイナリストインタビュー

第19回アマチュア落語家発表会寄席

総集編



第17回目となった今大会。

事前審査には、全国そして海外から340通もの応募をいただき、6日の予選会への出場権を手に入れたのは160名(実際の出場数は156名)お客様の熱気と笑いに溢れた予選会を勝ち抜き、10名のファイナリストが7日の決勝戦に登場、熱演を繰り広げました。

落語を愛する仲間との新たな絆が生まれたり、懐かしい顔との再会を喜ぶ声が聞こえたり、笑顔あふれる2日間となりました。



第七回

社会人落語日本一決定戦

令和7年

12月6日(土) 7日(日)

# 夢やったらどないしょ

決勝進出が決まった時は「うそやーん！」が最初。泣き崩れました。もう、夢やったらどないしょ。ま、夢でもええかと。あの日はその後何を飲んでも食べても味がしませんでした。

決勝の高座はとにかく気持ちよかったー。楽しすぎて、サゲを言うのがもったいないなーと思いました。二位で名前が呼ばれて「うそやーん！」と。また泣き崩れました。すみません、私涙腺のパッキン壊れてるみたいです。

予選、決勝とも、学生時から私の落語を「顔だけ枝雀師匠」と言うてた亡き母の着物と、若くして病に倒れ旅立った落語仲間の帯を締めて上がりました。

決勝は若くして病に倒れ亡くなった先輩が愛用されていた出囃子で上がりました。3人と共に高座に上がれて、これほど嬉しい事はなかったです。



第二位

見  
た  
絶  
景  
で  
こ  
し  
と  
な  
い

江戸の古典落語を大阪のお客様がどれくらい楽しんでくださるのか、不安に感じていました。でも予選会でお客様がとても温かく迎えてくださって、本当にありがたいと思いました。大好きな噺を思い切りやれて、大きな笑い声が聞こえたので、内心ガッツポーズ！いつかアゼリアホールの大舞台に上がることは大きな夢だったので、それが叶って本当に幸せ。憧れの高座から見えたのは、見たことのない絶景と、見たことのない自分自身の姿でした。

ふだん気持ちが落ち込んでいる時でも、落語の稽古をしたり聴いたりすると、いつの間にか幸せな気持ちになって、何度も落語に救われてきました。お客様や仲間たちが私の喋るのを聴いて少しでも楽しい気持ちになれるように、ずっと続けていきたいです。



笑  
い  
待  
ち  
が  
癖  
に  
な  
り  
ま  
し  
た

制限時間内に全てを表現すること、高座を楽しんでお客様にも楽しんでいただくことを意識して予選会へ。甘噛みも無く、ネタも飛ばさず稽古の成果は出せたと思いましたが、決勝進出は信じられませんでした。嬉しいけれど、どのように喜びを表現していいかわからず、歓喜のファイナリストの中でポツンと佇んでいました。

決勝では狙った笑いどころはウケていましたので気持ちよかったです。途中から「笑い待ち」が癖になりました。職場に出勤すると、たくさんお祝いの言葉をいただき、反響の大きさを感じました。せっかくファイナリストの皆さんと知り合いになったので、様々なところの落語会に参加したいと思います。



## Finalist

## Interview

ファイナリストインタビュー

叫  
ぶ  
ほ  
ど  
う  
れ  
し  
か  
つ  
た  
!

今回の演目「経理のバケモン」は、自分の仕事と、好きなものである「妖怪」を組み合わせるということをテーマにしました。一緒に活動している仲間や先輩方に見てもらい、色々な組み合わせを試していきながら、最終的に一番勢いもあって笑いどころも多いと考えて今回の構成を採用しました。

予選会では「経理のバケモン」史上、一番ウケました！決勝進出で名前が呼ばれて思わず叫んでしまうくらいにうれしかったです。

決勝戦の大きな会場で、ウケた瞬間にドンっと笑いが来る感覚はやはり最高！いろいろな人から「おめでとう」と言ってもらえると同時に、「次は優勝やな」という期待のお言葉も頂戴し、ますます頑張ろうと思っています。



予選会で意識したのは、いつも富山弁でやっているネタを標準語で喋ること。お客様が富山弁に意識を向けず、内容に入り込んでほしかったので直しました。でも終わってから「なまってたね」と言われました（笑）。決勝進出が決まった時は信じられない気分。「まじか」を100連発くらいしました。

## 市長賞キター！

正直、決勝戦は10番目のプレッシャーでひとつも楽しめなかったです。みんなが舞台袖で他の演者を見ている中、ひとり楽屋で稽古してしまいました。もっと周りをみて決勝の雰囲気味わえばよかったと今更ながら思っています。でも、今の自分を出し切ったと思います。市長賞で名前が呼ばれた時の気持ちは「市長賞キター！」です。前回決勝に上がった時も市長賞、今回も市長賞、2回とったのでミセス市長賞と名乗っても良いでしょうか。

富山県

ぶう風亭 みるみる  
にんまり保険

ラジオパーソナリティ  
寺岡 朋未 (52歳)

市長賞

学生時代は落研で活動していたのですが、就職してからは仕事が多忙で、何年も落語から離れていました。久しぶりに落語をしようと思ったキッカケは、ずばり育児です。実は大会の4ヶ月前に出産をしました。30時間以上の難産で死にかけたのですが、その時に「もう今の私にとってお産より怖いものはないな」と思って、産後の入院中に大会へエントリーしました。0歳と3歳の子どもを連れ、ママのかわいい姿を見せるぞーと張り切って予選会へ。決勝進出で名前が呼ばれた時は信じられなくて。聞き間違いだったらどうしようとハラハラしていました。決勝戦では、あんなに大勢のお客様前で落語ができ、めちゃくちゃ快感でした。

育児が終わるとまた当分落語は出来なくなってしまうと思うので、限られた時間で自分の目標を叶えまくりたいと思います。

京都府

おきく亭 伝喜  
馬の消えは日  
(小笹定雄作)

中学校教師 (家庭科)  
亀井 なつほ (32歳)

ママのかわいい姿を見せるぞー！

## 最高のひと時、感無量でした

予選会では、落語を演じた後、気持ちよく高座を降りることが出来るようにと意識していました。とても温かいお客様に恵まれたので、気持ち良く高座を降りることができました。決勝進出が決まった時はとても信じられず、口がぽかへんと開いたまま。帰りの電車の中で嬉しさがこみ上げてきて、にやにやした顔を隠すのに大変でした。決勝戦は緊張しましたが、最高の舞台でのひと時、感無量でした。落語教室の方々からの祝福が嬉しかったです。

大阪府

猪名川亭 立雀  
はながわのたてずく  
壱の合奏

会社員  
立川 賢 (54歳)

## 自分らしさを大切に

今年の大会は、いつもどおりの自分らしい落語をすること、全国の社会人落語仲間とお会いして一緒に楽しむことを意識しました。予選会ではお客さまにお楽しみいただけたようだったので、自分の落語が出来たのかなと感じましたが、決勝進出は全く想定してなかったのも、何度も聞き直してしまいました。ファイナリストのみなさんとは同志として、楽屋でも和気あいあいと過ごし、落ち着いて高座に臨むことができましたので感謝しております。今の自分を出しきったので悔いはありません。おかげさまで、多くの仲間やお客さまから祝福をいただきました。落語は年齢を重ねるごとに、芸の幅や可能性が広がるように感じております。

人生の歩みと重ね合わせながら、何より自分らしさを大切にしていきたいと思います。

東京都

葵家 金太郎  
おきく亭 伝喜  
尻餅

会社員  
水野 一典 (59歳)



# 人生最高の落語会 生きていてよかった！

コンテストとは疎遠の高座活動をしてきましたが、還暦が間近になったところから、60歳になって新作落語を作ることができたら、この最高峰の大会に応募してみようと思うようになりました。

どうか目標通り還暦の歳に創作落語を作ることができ、幸運にも審査を通過して、さあ記念になるぞ！と意気込んでいたのですが、出場した時には還暦を過ぎて61歳。なんだか間の抜けた記念になってしまいました。

予選会では存分にやり切った充実感がありましたが、決勝進出は夢にも思っていないので、名前を呼ばれて驚きました。決勝戦は至極の時間でした。高座までの道のりの大きな拍手、お客さんが応援してくれていることが体全体でわかってきました。高座に上がって客席を見回した瞬間に、ああここにきてよかった、この場所に来ることができて本当に良かったと自然に笑みがこぼれました。自分がお客さんにどんどん押し上げられてゆくような、自分以上の自分が甞をして

なところで、これほど多くのお客さんの前で甞ができる。人生最高の落語会でした。

優勝で名前を呼ばれたものですからそれはそれは驚きました。優勝の喜びをと言われて出てきたものは「生きていてよかった」。素のままの本音でしたが、もっと気のきいた感動の言葉を発したかったなあと思っています。

そして、賞品は能登の被災地へ、賞金は池田市に寄付をさせていただきました。私は今回初応募で初出場、池田に来た途端に優勝という超幸運に恵まれて、毎年この素晴らしい会を開催してくれている池田市に何一つ貢献していないのではないかという思いから、すばらしいこの会を運営していただいているこの地で賞金を役立てていただければという思いにいたりました。能登からも年越しそばに使わせていただきます」との連絡を貰いました。

池田市の皆様に感謝いたします。

優勝十七名

東京都

松鈴亭 竜一

運送会社社員  
鈴木 竜一 (61歳)



## 予選出場者一覧

- |          |         |
|----------|---------|
| 久米家 ダーツ  | 鶴巻亭 梅の丞 |
| 鶴巻亭 あんこ  | こまつ奈    |
| 元氣亭 卯々   | 浪遊亭 春月  |
| 博亭 シラリ   | 経知家 美代貴 |
| おき家 一うい  | 五月家 走卒  |
| 火災亭 珍歌   | 悠遊亭 のん気 |
| おき家 すすの  | 花柳亭 世流丸 |
| 五月家 王礼   | 佳音丹 響貴  |
| おのの家 文弥  | 電音亭 無眠  |
| 南風亭 れん太  | 萬風亭 栄光  |
| 百舌       | 飯喰亭 炒飯  |
| にに亭 リーチ  | 響 五十サバト |
| 葵家 金太郎   | 鶴巻亭 安次郎 |
| 関大亭 替丸   | 響亭 ちゅう助 |
| おき家 モリテ  | 響亭 京太郎  |
| 二座家 市松   | 松鈴亭 竜一  |
| 福福亭 あんこ  | 五月家 響   |
| さくら亭 冬月  | どろ亭 八橋  |
| 鶴巻亭 紫紺   | 池田家 先手  |
| 田舎家 かか   | 春雨や 通風  |
| 萬風亭 笑舎   | 金木亭 犀斗  |
| 鶴巻亭 いち福  | 参遊亭 小遊  |
| 宇風亭 みろる  | 鈴鈴亭 みかん |
| 秋風亭 かど吉  | 猪名川亭 鶴馬 |
| 蓮の家 八潮   | 三三亭 こん手 |
| 笑亭 真月    | フタレ亭 板井 |
| おのの家 やよい | 猪名川亭 玄雀 |
| 楠木亭 遊人   | 笑家 わたこ  |
| 鶴の家 銀二   | 五月家 文梯  |
| 大原亭 都灯   | 六ツ家 千鶴  |
| 忠孫亭 信修   | 幼柳亭 伝喜  |
| 池田家 真砂   | この家 梅酒  |
| 博亭 紀ら    | ちき亭 かつお |
| 令和 華都    | 風流亭 半丸  |
| 天神亭 美笑   | 天神亭 珠緒  |
| 宇風亭 シラ   | 道隆亭 かね平 |
| 恋月亭 参鈴   | 兵衛亭 ひより |
| 三掌 風林山   | 港家 なつき  |
|          | 痛風亭 るた  |

大会統括・桂 小文枝（落語家）・木下 昌輝（作家）・日高 美恵（よせばい編集者）【凱旋落語】呆っ人  
鶴・桂 米平・桂 坊枝・桂 春雨・桂 慶枝・林家うさぎ【市民審査員（池田市役所）】水越 英樹・衛門 昭彦・藤井 幸治・西田 忠由・西山 真・小泉 剛

落語みゆーじあむ  
イベントスケジュール

至川西  
至宝塚  
至梅田

阪急池田駅  
池田署  
池田市役所

サカエマチ通りの商店街  
国道176号線

落語みゆーじあむ  
永一あむ  
ピリケン像  
ハローワーク

落語みゆーじあむ

〒563-0058 大阪府池田市栄本町 7-3  
電話：072-753-4440 FAX:072-753-4447  
開館時間：11時～19時  
休館日：火曜日、年末年始  
入館料：無料（落語会などは木戸銭が必要です）  
※専用駐車場はございません。

最寄駅：阪急電車宝塚線「池田駅」下車  
（阪急梅田駅から急行で約20分）  
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

《協力》  
公益社団法人  
上方落語協会





# 総括 桂文枝



いるような高座でした。  
素晴らしいメンバー  
と、こんな素敵

※年齢は 2025年 12月7日時点のものです。

お越しいただいた池田の皆さん、池田以外から来られた皆さん、最後までご覧いただきありがとうございます。そしてこの大会に出場していただきまして、決勝戦に出られた皆さん、本当におめでとございます。

今日見ていて思ったのは、皆さんしっかりと稽古なさって、多少声の小さい方もいらつしやいましたけど、スムーズにおしゃべりなさっていたのがすごかったなあと。かんだり、止まったり、うるうるしたりすることがなかったです。それは素晴らしいなと思いつつ、仕事してないなとも思いました(笑)。

実は優勝はすんなりと決まった訳ではありません。いろいろとみんなで、ああだこうだと言いつつ決まりました。でも人手不足という今の問題を取り上げたこと、そしてストーリーが面白くユニークだったこと、いろんなことを総合的に考えて、みんなでこういう結果にさせていただきました。すんなり決まった訳じゃないということ、それだけ皆さんのレベルが高かったということです。

来年も期待しています。本当にありがとうございました。

- |          |       |        |        |        |         |         |        |        |        |       |       |        |      |        |       |         |         |        |         |     |        |        |        |     |        |        |        |        |         |         |       |        |        |        |        |         |        |         |         |
|----------|-------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|------|--------|-------|---------|---------|--------|---------|-----|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|---------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|
| 相模亭 くらひら | 豊洲 洗陽 | つばき 自扇 | 中仙道 酒家 | 柳香家 蒼社 | 五葉家 湯治郎 | こぎん亭 舞扇 | 仲寛亭 三郎 | 大塚亭 倉寿 | 当利家 源内 | さくら 舞 | 浜ノ 磯丸 | 天神亭 笑華 | 桂 文枝 | 相模亭 桃娘 | 柳川 藤成 | 猪名川亭 風鈴 | 笑福亭 いろは | 爪田家 桐瑞 | 日々亭 汗大橋 | 利 明 | 蕭風亭 三葉 | 煙吸亭 兜王 | 三國亭 樂松 | つね吉 | 夜の家 恋々 | 天満家 真念 | 鶴亀亭 良家 | 味付亭 紺染 | 良佳亭 寿限無 | 猪名川亭 喜理 | 趙家 花び | 四笑亭 樂狐 | 天満家 豊蝶 | 五葉家 枝舞 | 夢見家 春木 | 流行亭 伽桑太 | 田舎家 山山 | 猪名川亭 幸徳 | 電々亭 とし丸 |
|----------|-------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|------|--------|-------|---------|---------|--------|---------|-----|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|---------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|

【主催】池田市／社会人落語日本一決定戦実行委員会    【協賛】 **NISSIN 日清食品**    【協力】 尼崎信用金庫    【決勝審査員】桂文枝    【予選審査員】笑福亭 呂

**如2月**  
「休館日 3日(火)・10日(火)・17日(火)・24日(火)」

2月7日(土) 9時～正午  
アマチュア落語講座(初級・中級・上級)  
2月14日(土) 9時～正午  
アマチュア落語講座(中級・上級)  
2月14日(土) 14時  
第217回 落語みゆーじあむ寄席

桂小留 開口一番

桂三河 お楽しみ

桂惣兵衛 難読学園

2月14日(土) 午後2時開演  
【本・観】5日2,000円(前売1,500円) 当日2,000円  
【主催・問合せ】落語みゆーじあむ  
TEL:072-753-4440 FAX:072-753-4147  
※前売券発売中(電話予約可) ☎072-753-4440

**弥3月生**  
「休館日 3日(火)・10日(火)・17日(火)・24日(火)・31日(火)」

3月1日(日) 10時～18時  
第19回アマチュア落語家発表会寄席  
3月7日(土) 10時～17時30分  
第19回アマチュア落語家発表会寄席  
3月14日(土) 14時  
第218回 落語みゆーじあむ寄席  
3月15日(日) 13時～15時  
第17回 落語みゆーじあむ  
社会人落語日本一寄席

落語みゆーじあむ

社会人落語日本一寄席

3月15日(日) 午後1時～午後3時  
【本・観】前売:500円(当日:800円)  
※前売券発売中(電話予約可) ☎072-753-4440

木戸銭無料！  
出入り自由！

一年頑張った成果を、晴れ舞台で披露します！

第19回

# アマチュア落語家発表会寄席

2月28日(土) 10時～18時10分

3月1日(日) 10時～18時

3月7日(土) 10時～17時30分

12時頃

猪名川亭藤桜  
藤田とも子  
文々亭純太  
原口純二  
薫風亭栄光  
久田佳奈  
薫風亭文鳥  
萩原大志  
池田家百々太郎  
治村忠男  
猪名川亭尚花  
塩見尚子  
猪名川亭都々喜  
衣笠良子  
鶴亀亭好翁  
安河内勝英  
文々亭仁生  
佐藤 仁  
猪名川亭絹馬  
梶井貞次  
池田家成談  
高木克成  
五月家走平  
足立節男  
五月家稲佐久  
中西博美  
鶴亀亭宏次郎  
上村宏也  
池田家登ざん  
西田努  
池田家角行  
佐古浩行  
猪名川亭水車  
水本敏一  
猪名川亭ゑれ喜  
阿部敬男  
猪名川亭風鈴  
依与加  
五月家ぼたん  
川面真知子  
薫風亭緑風  
上遠野隆司  
平和家淡蝶  
淡片恵美子  
薫風亭隆志  
香川佳隆

味噌蔵  
つる  
寿限無  
粗忽長屋  
昭和任侠伝  
宗論  
長屋の花見  
粗忽長屋  
道具屋  
げほう頭  
幽霊の辻  
寝床  
くしゃみ講釈  
背なで老いてる  
唐獅子牡丹(桂三枝)  
月に群雲  
五貫裁き  
能狂言  
三井の大黒  
錦の袈裟  
子は鑑  
崇徳院  
つる  
行員ヤンママの如し  
(桂三枝)

奨励賞授与・修了式 講師 林家 染左

14時頃

猪名川亭志士  
水野真之  
猪名川亭天敏  
塚本史子  
五月家王礼  
中西英二  
薫風亭笑舎  
前山博正  
池田家遊雲  
坂井経夫  
令令和華都  
津賀美季  
薫風亭三葉  
角倉幸子  
池田家先手  
菊田盛仁  
猪名川亭寿美  
前田すみ子  
猪名川亭紫紺  
河野弘和  
天神亭おり鶴  
竹中史子  
五月家満貴  
楠田淑子  
天満家六光  
向井琢雄  
鶴亀亭がんばり万年  
富岡知林  
池田家真砂  
池田美砂子  
猪名川亭福美  
福永知美  
鶴亀亭団吉  
福永浩二  
鶴亀亭南坊  
山内真一  
五月家一桜  
佐倉明雄  
五月家枝舞  
澤崎美枝子  
猪名川亭永楽  
西田恵永子  
五月家鶯  
片岡桃代

手水廻し  
稲荷俤  
はてなの茶碗  
天狗裁き  
時うどん  
金明竹  
まめだ  
禁酒関所  
動物園  
稲川  
雁風呂  
池田の牛ほめ  
天神山  
初恋(桂三枝)  
とり  
壺算  
鯛(桂三枝)  
短命  
蜆売り  
喜瀬川  
軽業  
幾代餅

奨励賞授与・修了式 講師 桂 三幸

17時頃

令令和よし香  
天平佳香  
文々亭憲治  
柄崎憲司  
八軒家一升  
北田勝章  
鶴亀亭崑楽  
福田恵一  
猪名川亭宝朝  
宮尾義政  
鶴亀亭梅の丞  
梅本那雄  
五月家笑麗  
笹倉恵美子  
呉羽亭ひより  
布谷郁子  
五月家湯治郎  
山口正和  
五月家希坊  
小原真希  
天満家光太郎  
坂屋光徳  
猪名川亭喜真理  
山口喜美子  
池田家団巢  
菅原庸介  
猪名川亭幸穂  
吉田美幸  
猪名川亭立雀  
立川賢  
五月家藪雀  
辻睦  
池田家ふる里  
山内さと子  
文々亭金三  
渡部恭三  
五月家文桜  
濱口文子  
五月家都々呂  
多田充

商売根間  
堪忍袋  
井戸の茶碗  
ハードラック  
(笑福亭仁智作)  
粗忽長屋  
池田の牛ほめ  
ちりとてちん  
加賀の千代  
蹴潟  
堪忍袋  
十徳  
金明竹  
猫の茶碗  
手水廻し  
池田の猪買い  
夢の革財布  
厩火事  
娘の就職(文々亭金三作)  
ろくろ首  
上爛屋

奨励賞授与・修了式 講師 桂 枝三郎

受講生  
募集！

落語みゅーじあむ 令和8年度

## アマチュア落語家入門講座

基本から学び、「池田の牛ほめ」「好きな演目」で落語家デビューしませんか！

特典

コース修了後、桂文枝名誉館長から高座名をつけて頂けます。  
落語みゅーじあむでの発表会 + 落語みゅーじあむの落語会へ1回ご招待

《日程予定》原則として月2回・土曜日 午前9時～正午 《主任講師》桂 枝三郎 《人数》10名限定(先着順)  
《参加費》32,000円 《持参品》扇子・手ぬぐい・ゆかた・帯・足袋・履物など  
《日時》令和8年4月18日(土)～令和9年2月27日(土)・28日(日)・3月6日(土)のいずれかまで、計16回

申込方法

2月18日(水)までに申込用紙にご記入の上、落語みゅーじあむにFAXか、郵送で送付下さい。  
【申込み＆問い合わせ先】 落語みゅーじあむ TEL:072-753-4440 FAX:072-753-4447